第３５回日本選手権（富山大会）県代表選考会に、秩父からも多くのチームが参戦、川本・砂利テランにて奮戦しました

５月２２日・２３日　川本お祭り広場

チーム編成は①クラブ単体で、②秩父の他のクラブとの連合で、③秩父以外の地域との連合と様々。全体参加チーム数、男子は１５中６女子チームは同じく全体１０中５。その結果男子は１６名女子は１３名合計２９名の予選会への挑戦となりました。①タイプ編成男子２女子２、②は男子３女子２、③タイプチーム男子１女子１という内容です。

一昨年秩父開催男女優勝チームには既にシード権がありますが、これに次ぎ富山へ参戦するのはどこか？　男子では１位通過のチームＫＩＫメンバーの一人・市川重夫選手が確定。女子では４位通過のさくらＮＭＩメンバーの一人・入戸野肇子選手がほぼ切符を確定しました。いずれも③の秩父以外の選手との連合チーム編成、①や②の編成チームは残念ながら一歩及ばずという結果でした。ただ女子６位通過の芝桜には微かな望みもあるようです。

編集後記

本年度最初の秩父ペタンク通信をお届けいたします。新型コロナとうまく折り合いをつけながら、４月開催のＪＡ杯、５月開催の秩父ＯＰと続きましたが、とりあえずは諏訪の出足が快調のようです。次回は市連盟クラブ対抗戦。クラブの名誉を賭けた戦いとなります。参加クラブそれぞれ、大いに頑張ってください。

なお、今年度より月峰の太幡勝徳さんが広報部に加わりました。よろしくお願いいたします。　　浅見

秩父ペタンク通信

秩父郡市内外のペタンク情報をより多く

六月号　令和三年六月七日発行
市連盟広報部　浅見恒夫
写真・文　太幡勝徳・浅見恒夫

諏訪が三連覇、第６回 JA ちちぶ組合長杯

歴代優勝クラブ
第１回　陽野
第２回　石原
第３回　上黒谷
第４回　諏訪
第５回　諏訪
第６回　諏訪
４月２９日（祝）
荒川グラウンド
参加チーム　８４

諏訪Ｄ　山中輝義、新井美和子、緑川暉祥

審判長からの注意点
ビュット等へのマーキング義務、１７条関連、新型コロナ感染拡大防止の観点等。

閉会式講評。マーキング義務に関しては、努力がまだまだ必要とのことでした。

２位　はなみの郷Ａ
大澤博、豊田完雄、原田文雄

３位　大沼Ｇ
住吉雅宏、新井文夫、飯島一男

ＪＡ杯に続いて、諏訪が勝利　秩父オープン

決勝戦は、諏訪対諏訪の熱戦となりました

歴代優勝クラブ
第　１回　上町
第　２回　上町
第　３回　上町
第　４回　大沼
第　５回　大沼
第　６回　月峰
第　７回　諏訪
第　８回　大沼
第　９回　上黒谷
第１０回　大沼
第１１回　大沼
第１２回　大沼
第１３回　大野原
第１４回　諏訪

諏訪Ｇ　横田育夫、内田光男、山中輝義

ＪＡ杯、秩父 OP ともに、優勝チームは予選リーグ初戦では敗れています。
何事もあきらめずにという好例でしょうか。

２位　諏訪Ｃ　浅見恒夫、
新井久子、太幡菊男

３位　上黒谷Ｇ　坂本富美子
大久保進、逸見トシエ